

2020年9月1日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

日本システムケア株式会社の全株式を取得

ニューホライズン キャピタル株式会社(本社 東京都港区、代表取締役会長 安東 泰志、以下「NHC」)が管理運営する、ニューホライズン 3号投資事業有限責任組合(以下総称して「弊社」)は本日付で、日本システムケア株式会社(本社 東京都品川区、代表取締役社長 家近 茂、以下「JSC」)の全株式を取得しました。

JSCは、1989年の設立以来、「ITAD(IT Asset Disposition :情報機器資産の処分)」分野の草分けとして実績を重ね、国内有数のITAD サービスプロバイダーとして安心、安全、環境に配慮した信頼性の高いサービスを展開してきました。IBM 機器の延命保守サービスを担うリスク・マネジメント・サービス事業、中古情報機器を調達しデータ消去・キッティング・OS の再インストール等を行い販売するリサイクル環境事業、顧客が中古情報機器を導入する際の導入サポート・運用・保守・廃棄までに至るITライフサイクル全般をワンストップで提供するライフサイクル・マネジメント事業(以下「LCM 事業」)と、その業態、業容を拡大しています。特に中古PCを活用したLCM 事業では国内最大規模の企業です。

IT の活用がもはや企業活動に欠かせない昨今の状況下、ITライフサイクル全般におけるトータルコストの削減や中古情報機器の廃棄時における情報セキュリティの確保に対する需要は、今後一層高まることを見込まれます。弊社は当該分野において豊富な実績、リソースを有するJSCに更なる成長が期待できると判断し、今回の投資実行に至りました。また、JSC は中古情報機器のリユース、リサイクルを通じて、環境負荷低減、循環型社会の実現等を目指す「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に大きく貢献しており、本件投資を実行することは、弊社の責任投資原則(ESGポリシー)に照らしても社会的意義があるものと考えております。

弊社は人的資源の充実化や情報セキュリティ対策のより一層の強化等に取り組み、JSC の全役員と一丸となって同社の企業価値向上のために尽力する所存です。

なお、新組織体制としては、代表取締役は家近茂氏が続投し、弊社から新たに取締役及び監査役数名を派遣する予定です。

〈ニューホライズン キャピタル株式会社〉

事業承継、カーブアウト、成長支援等のプロを多数擁する独立系 PE ファンド。2002 年 2 月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006 年 10 月の会社分割を経て、通算 18 年超の実績(独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額 2,700 億円超)を誇る。現在は、NHC として 3 本目、創業から 9 本目のファンドを運営中。2002 年以來、すべてのファンドの創設時にキーマン(主運用責任者)をつとめてきた安東泰志をはじめとする NHC のチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iae ホールディングス、たち吉、武田産業、GENEROSITY、シバウラ防災製作所、川崎ホールディングス、昭和コーポレーション、かがやくコスメ、ウッドテック、NITTO 等、開示可能なエクイティー投資先だけで約 40 社、全体では 100 社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先:

広報担当(IFC)竹江、高杉 連絡先:090-5560-6309